

# 社会福祉法人吉野町社会福祉協議会

## 平成27年度事業報告書

### <地域福祉事業>

#### 1. ボランティア活動支援・育成事業

ボランティア活動の活発な展開を支援し、ボランティア参加を促進するため体制の整備に努めた。

##### (1) ボランティアセンター活動事業

ボランティア活動に関する相談受付や情報提供、助成金申請にかかる支援、活動に必要な備品（プロジェクター、マイクセット等）の貸出を行った。また、本会登録ボランティア団体に対して活動保険に加入し、地域や福祉施設等において安心して活動をしていただけるよう援助した。

##### (2) ふれあい郵便事業・ふれあい文通事業

80歳以上の在宅ひとり暮らし高齢者を対象に、郵便局とお便りボランティアの協力をいただき、安否確認を目的とした見守り事業として、100名の対象者がお便りを毎月受け取った。ふれあい文通事業については、五條市のボランティアと本町高齢者1名が利用した。

##### (3) 吉野町ボランティア連絡協議会

ボランティア団体間の情報交換や相互協力等の支援を行い、地域におけるボランティア活動の活性化を図った。

##### (4) ブックスタート事業

ボランティア団体「木の子文庫」の協力を得て、絵本を通じて親子で本と親しむきっかけとなるように、乳幼児検診時の0歳児を対象に絵本を23組の親子に手渡した。

##### (5) 傾聴ボランティア事業

安心して暮らすことができる社会づくりに向けて、だれもが抱える心の不安や悩みを「傾聴」というカウンセリングの技法を用いて軽減する傾聴ボランティア活動を、年間6回実施し、延べ82名の傾聴ボランティア活動者が参加した。

##### (6) ボランティア研修事業

ボランティア活動の啓発ならびに支え合うまちづくりの動機づけの機会、子どもから大人までの多世代の交流の場として「ボランティア推進セミナー」を開催し、会場ではボランティア団体の活動紹介ブースを設置し啓発を図った。

また、地域におけるサロン活動の活性化を図る目的で、「竹細工」を体験しながら学ぶ「ボランティア講座」を実施した。

##### (7) 中学生の高齢者疑似体験、福祉施設での体験学習

誰もが暮らしやすい社会を考え、ボランティアに関心を持ち、若い世代のボランティア活動の推進に繋げるために、高齢者疑似体験や福祉施設での体験学習（車椅子介助、介護食の実食）を実施した。

#### 2. 在宅福祉サービス事業

高齢者や障がい者等、支援が必要となった人々の自立生活を維持していくため、公的サービスでは十分行き届かない部分をカバーするために、各種団体と連携して実施した。

(1) 訪問理美容サービス事業

理容院や美容院に出向くことが困難である高齢者や身体障がい者に対して、理容・美容師が居宅を訪問してサービスを提供することにより、当該高齢者の保健衛生の増進や気分転換を図るとともに、家族の介護負担の軽減を図ることを目的に実施し、延べ9名が利用した。

(2) 安心箱設置事業

ひとり暮らし高齢者の突然の入院や不測の事態に対応するため、安心箱（タオル、スリッパ、歯磨きセット、ティッシュ等の入った箱）を、入院時等に地区民生委員が対象者にお渡しする事業を実施し、1名の方に配布した。

(3) 給食サービス事業

9月の敬老月間における給食サービス事業として、地区民生児童委員の調査により、70歳以上の一人暮らし老人450人、どちらか一方が80歳以上の老夫婦世帯194世帯、80歳以上の高齢者のみの世帯1世帯に対して、吉野町善意銀行の払い出しを受け、カップ麺による給食サービスを実施した。

(4) 在宅高齢者給食サービス事業（委託事業）

調理が困難な者に対して、栄養バランスのとれた食事を提供することにより、食生活の改善と健康増進を図るとともに、安否の確認と孤独感の解消に努め、在宅での生活を支えることを目的として、「国栖の里ほりおこし会」に事業委託して実施した。年間11回、延べ572名の方に配食サービスを行った。

(5) 在宅要援護世帯歳末見舞金事業

在宅の要援護世帯（低所得のひとり暮らし・老夫婦世帯・母子父子世帯、重度障がい者、寝たきり老人等）100世帯126人に対して、歳末たすけあい募金の配分金を受けて、地区の民生児童委員を通じて歳末見舞金としてお渡しした。

3. 共同募金事業

募金への理解を深めるため、民生・児童委員、区長会等の協力を得て、広く住民に周知し募金活動を推進した。

(1) 吉野町共同募金委員会

- ・運営委員会 … 共同募金運動の企画、実施、広報啓発
- ・審査委員会 … 助成計画の策定、配分審査等
- ・10月の赤い羽根共同募金、12月の地域歳末たすけあい募金を民生児童委員や区長・自治会長の協力を得て、町民の皆様の温かいご支援とご協力により多くの募金を集めることができた。

※赤い羽根共同募金 1, 521, 724円

※歳末たすけあい募金 1, 334, 680円

(2) 一般共同募金配分金事業（主な配分内容）

- ・こんにちは赤ちゃん事業
- ・子ども文庫充実事業
- ・在宅高齢者給食サービス事業

- ・傾聴ボランティア活動
- ・ボランティア研修、ジュニアボランティア育成事業
- ・社協だより発行 等

(3) 歳末たすけあい配分金事業（主な配分内容）

- ・在宅要援護世帯への歳末見舞金
- ・訪問理美容サービス事業
- ・恋活・婚活イベント事業 等

4. 地域福祉権利擁護事業

判断能力が十分でない高齢者や障がい者等の福祉サービスの利用について、利用者自身の意思を尊重し、円滑な福祉サービスの利用手続きや金銭管理等を援助する本事業は、4名の方の支援を行った。

5. 心配ごと相談事業（人権相談・行政相談含む）

心配ごと相談所は、年間12回の相談日を設け、13名の相談員が交代で広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行って地域住民の福祉の増進を図った。

相談件数は、財産2件、老人福祉1件、事故1件、医療1件、生計1件、苦情1件、その他3件、合計10件の相談があった。これらの相談に対して相談所で即解決したものや、他機関と連携して解決したものなど、すべての相談に適切な対応を行った。

6. ふくし総合相談事業

町民の福祉相談に対応するための窓口として、様々な相談を電話又は来所にて年間28件受付し、解決が23件、継続及び他の関係機関等の紹介が5件であり、相談内容に応じて問題解決の手助けができるよう福祉サービスや関係機関等の情報提供、助言を行った。

7. 奈良県生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や要援護世帯の福祉増進ため、奈良県社協からの委託により、生活福祉資金貸付事業（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）の相談窓口として対応した。相談については、福祉資金福祉費、緊急小口資金等について合計3件の相談があり、貸付対象のケースではなかったが、関係機関や他制度の紹介をするなどの対応を行った。

8. 恋活・婚活イベントの開催

少子化、過疎化という地域課題解決に向け、独身の男女に出会いの場を提供し、結婚に対する意欲を促進する婚活イベントを開催した。

10月 ハロウィン恋活イベント

2月 バレンタイン婚活イベント 5組カップル成立

9. 民生児童委員協議会との協力、連絡調整

地域福祉の推進を図るため、民生児童委員協議会に福祉調査事業、給食サービス事業、安心箱設置事業、募金活動等様々な事業において協力を依頼し事業を推進した。

また、協議会の事務局を担当した。

10. 日本赤十字社社資募集運動の実施

日本赤十字社吉野町分区の事務局として、5月に社資募集運動を町内区長・自治会長及び婦人会の協力をいただき実施し、1,249,053円の社費が集まり奈良県支部へ納付した。

## 11. 当事者団体運営の支援

吉野町老人クラブ連合会、吉野町身体障害者福祉協会、吉野郡身体障害者福祉協会連合会、吉野町手をつなぐ育成会、英霊にこたえる会吉野町支部、吉野町遺族会、吉野郡東部遺族会、吉野町母子福祉会の事務局を担当した。

### <居宅サービス事業>

#### 1. 居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネージャー）が、介護認定を受けた要介護者や家族等からの相談に応じ、居宅サービスや施設サービスを適切に利用できるように事業者等との連絡調整を行い、要介護者等が自立した生活を営むことができるように、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成した。

H27年度実績	H26年度実績
934件	963件

#### 2. 訪問介護事業・介護予防訪問介護事業

要介護者等との契約によりホームヘルパーを派遣し、自立した生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事の介助、調理・掃除・洗濯等生活全般にわたる訪問介護サービスを提供した。

また、日常生活上の基本動作がほぼ自立し、状態の維持・改善可能性の高い軽度者の状態に即した自立支援と、目標指向型のサービス提供を推進する観点から、適切なケアマネジメントに基づき、予防訪問介護サービスを提供した。

	実利用者数		合計
	訪問介護	介護予防	
H27年度	52名	11名	63名
H26年度	48名	17名	65名

	身体介護		生活援助		身体生活		介護予防	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間
H27年度	1,389回	1,005時間 50分	3,948回	4,268時間 5分	1,098回	1,699時間 15分	793回	982時間 40分
H26年度	1,172回	770時間 50分	4,121回	4,513時間 50分	663回	1072時間 30分	994回	1263時間 40分

	合計	
	回数	時間
H27年度	7,228回	7,955時間 50分
H26年度	6,950回	7,620時間 50分

3. 障害福祉サービス事業（居宅介護事業）

身体障がい、知的障がい、精神障がいの障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるようホームヘルパーを派遣し、食事、身体の清潔の保持等のサービスを提供した。

	実利用者数	身体介護		家事援助		通院介助	
		回数	時間	回数	時間	回数	時間
H27年度	5名	116回	174時間 00分	309回	433時間 00分	3回	4時間10分
H26年度	3名	124回	372時間 00分	252回	424時間 30分	0回	0時間

	合 計	
	回数	時間
H27年度	428回	611時間10分
H26年度	376回	796時間30分

4. 指定特定相談支援事業（障害福祉サービス等の利用計画の作成）

障害福祉サービス等の利用計画についての相談および作成など、障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、2名の方の支援を行った。

5. 軽度生活支援事業

要介護認定で自立と判定され日常生活を営むのに支障がある在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、軽易な日常生活の援助を行い要介護状態にならないよう生活支援サービスを提供する事業であるが、実績はなかった。

6. 介護予防居宅介護支援事業（受託事業）

吉野町地域包括支援センターからの予防給付によるケアプラン作成業務を受託し、利用者の状態の特性を踏まえた目標を設定するとともに、介護予防の効果を最大限に発揮し、利用者の自立に向けたケアプランを策定した。

H27年度実績	H26年度実績
89件	75件

7. 要介護認定訪問調査事業（受託事業）

高齢者等からの要介護認定の申請により、町からの委託を請けて、介護を必要とする人の心身の状況等認定のための調査を行った。

H27年度実績	H26年度実績
22件	5件

## <公益事業>

### 1. すこやかサロン事業（受託事業）

#### ①認知症予防サロン事業

65歳以上の介護保険法による要支援2までの高齢者を対象に、参加者が自ら考え、自ら実践するといった主体的参加を基本に、健康体操や調理、創作活動等のプログラムを進行し、認知症予防の取り組みを行っていく中で生きがいを見出していくことを目的として、健やか一番館3階において週2回実施した。

年間実施日数	延べ利用者数
95日	898名

#### ②笑いヨガ普及啓発事業

脳の活性化が図れ、認知症予防効果が期待できる笑いの体操「笑いヨガ」の普及啓発として、地域住民グループや老人クラブ等と連携し、認知症予防およびサロン活動を効果的にすすめていただくために、笑いヨガ講座を実施した。

年間実施回数	延べ利用者数
25回	386名

#### ③地域サロン事業

昨年度に引き続き地域でサロンを実施し、高齢者がいつまでも生き生きと暮らしていけるよう生きがいづくりの場として、町内各地区において地域サロンを実施した。

年間実施回数	延べ参加者数
14回	302名